



町発足60周年記念事業

6/30
田植え

3色の稲でかんらちゃんを表現

田んぼアート

→7月20日の田んぼの様子



福島の跨線橋西に
かんらちゃん登場！

町発足60周年を記念した田んぼアートの田植えが6月30日、福島地区の田んぼで行われました。

あいにくの雨でしたが、約50人が参加して古代米やゴロピカリなど黒、ピンク、緑の3色の苗を植えました。

田んぼに描かれたのは、「60th」と町のキャラクター「かんらちゃん」、「おめでとう」です。8月上旬から見ごろとなる予定です。ぜひ足を運んで、成長の様子をご覧ください。

町ホームページでも田んぼアートの経過を掲載しています。



雨の中カッパを着て作業した田植え

田んぼアート案内図



駐車場は浅間堤公園を利用し、福島跨線橋の階段を上って見学してください。



かんらちゃんの頭の部分に苗を植えました。田んぼの中を歩くのが大変だったけれど、がんばりました！



初めての田植えで、お米の大切さもわかりました。苗が大きくなるのが楽しみです！

田植えに参加した子どもたち

7/12
公開授業

子どもが作る「弁当の日」

中学生が自ら創る記念事業・甘楽中



町発足60周年記念事業の中学生が自ら創る事業として、甘楽中学校の公開授業・自分力アップセミナー「子どもが作る弁当の日」が7月12日、同校の防災交流センターで開かれました。同授業では、「弁当の日」の提唱者・竹下和男さんが講演し、甘楽中の生徒330人と地域の人や保護

者約50人が参加しました。

竹下さんからは、「人は置かれた環境に適應する」というメッセージとともに、次世代の子どもを産み育てる人間となるために、家で食事を作ることに挑戦してほしいという提案がありました。10月には、甘楽中学校の「弁当の日」が実施される予定です。

感想

松井夢翔さん(1年)
大切な話を聞くことができ良かった。できなくて当たり前のことでも挑戦していきたいと思う。



公開授業に参加した松井さんと家族



ニカラグア共和国の

ホストタウンに登録が決定しました！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、甘楽町がニカラグア共和国のホストタウンとして登録されました。



ホストタウンとは？

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催により、多くの選手や観客が来訪することを契機に、全国の地方自治体と大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに地域の活性化などを推進することを目的としています。この目的を達成するため、自治体の住民などと大会に参加するために来日する選手などとの交流により、スポーツの振興、教育文化の向上および共生社会の実現を図ろうとする地方公共団体がホストタウンに登録されます。
 ※ホストタウンは国の事業です。



ニカラグア共和国って？

中央アメリカに位置し、ホンジュラスやコスタリカと国境を接しています。面積は13万km²で北海道と九州を合わせた広さです。人口は622万人で、言語はスペイン語です。農牧業が主要産業で、コーヒー豆の栽培が有名です。



なぜニカラグア共和国なの？

青年海外協力隊としてニカラグアへ派遣された隊員が甘楽町で派遣前研修を受けていたこと、JICA（独立行政法人国際協力機構）を通じて来日したニカラグアの研修生が甘楽町の農家の下で農業研修を受けたことを縁としてホストタウン交流の協議が始まりました。

ロドリゴ・コネル駐日特命
 全権大使（左）と茂原町長



今後の予定は？

甘楽町ではニカラグア共和国との交流計画に基づき、「事後交流」型ホストタウン（※）として交流を進めていきます。各事業については、詳しい内容が決定し次第、町広報やホームページでお知らせいたします。

※東京2020大会の競技終了後に選手がホストタウンを訪問し、地元住民とさまざまな交流を行うホストタウンの形式



両国の文化を共有し、子どもたちが世界を身近に感じ、町民の心に残るオリンピック・パラリンピック交流を進めます。

アスカ教育基金が 創設されました

株式会社アスカ（高崎市・加藤秀明代表取締役会長）の寄付を町の教育振興の資金として積み立てるアスカ教育基金が創設されました。加藤会長と関係者が7月10日に役場を訪れ、同基金に寄付されました。

- ◎株式会社アスカ（高崎市）
500万円
- ◎加藤秀明さん（善慶寺）
100万円

「町のために長く寄付していきたい」と話した加藤会長（右）



善意に深く感謝し、
広く皆さんにお知らせします

夏の県民交通安全運動

その車間

みんなのせまさが
見えています

夏の県民交通安全運動が、7月11日から20日まで実施されました。

期間中は警察、交通指導員、交通安全協会、交通関係団体の皆さんと町が共同で、子どもと高齢者の交通事故防止や自転車と二輪車の交通事故防止、飲酒運転の根絶などを呼び掛けました。



買い物帰りの来店客にチラシと啓発品を配布して交通安全を呼び掛け（カインズホーム富岡甘楽店）

台南市の魅力に触れる

友好図書館交流企画

■甘楽町図書館 ☎(70)4660

甘楽町図書館では、6月29日から7月28日まで、ら・ら・かんら1階ロビーで「Friendship Box」友好図書館交流企画を行いました。

これは、台湾台南市が友好関係にある日本の都市と協力し、書籍を詰めた箱をお互いの都市に送り、現地の図書館で展示するというもので、台南市の関連書籍など51点を展示、紹介映像を上映しました。今回の交流企画の展示は甘楽町のほか、県内4カ所でも開催されました。

甘楽町からも台南市の図書館へ書籍などを詰めた箱を送り、展示をする予定です。



台南市から送られたポスターやガイドブック、エッセーなどを紹介したコーナー

また、6月30日には、みなかみ町職員で台南市政府対日事務相談顧問の阿部真行さんの特別講演会「Friendship Box 台湾の古都「台南」が同所で開かれました。

講演の中で阿部さんは、台南の歴史や文化などについて質疑応答を交えながら話し、参加した77人は、和やかな雰囲気の中で、台南の魅力に触れるひとときを過ごしました。



「台南市と群馬県内の交流が進むとうれしいです」と話した阿部さん（中央奥）

展示した書籍は、台南市から町へ寄贈されました。甘楽町図書館で貸し出しできますので、ぜひご利用ください。



安全対策で安心ドライブ 高齢ドライバー向け補助制度のご案内

総務課庶務係 内線211

先進安全自動車購入費補助

高齢者の運転による交通事故が多発しています。町では、高齢者の自動車事故を防止し、事故時の被害軽減を図るため、65歳以上の人を対象に衝突被害軽減ブレーキなどを搭載した新車の購入費用の一部を補助しています。申請方法など、詳しくはお問合せください。



先進安全装置が警告します

補助対象者

- ① 新車登録日に、町内に住所を有している満65歳以上の人
- ② 自動車運転免許証を保有している人
- ③ 非営利かつ自ら使用する目的で新車を購入した人（リースは対象外）
- ④ 町税を滞納していない人

補助対象要件

車両本体価格（消費税抜き）300万円以下で、先進安全装置（※）が搭載された家用乗用車を新車で購入し、平成31年4月1日以降に新規登録（軽自動車は新規検査届出）した場合

補助金額

5万円
※一人につき1回限り（予算額に達した場合は終了）

※先進安全装置とは

- ・衝突被害軽減ブレーキ
- ・車線維持支援制御装置、車線逸脱警報装置またはふらつき注意喚起装置
- ・ペダル踏み間違い時加速抑制装置

インタビュー

～先進安全自動車を使用～

田村早苗さん（国峰）

高齢者の事故が増えていることもあり、車を買替えるタイミングで安全機能・装置のついた車を選びました。ペダルの踏み間違い事故を起きにくくする装置など、性能がとても良いので安心でき、自分も安全運転に心掛けています。このような車がさらに普及すると思います。



運転免許証自主返納支援補助

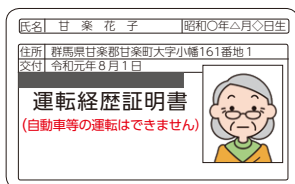


加齢に伴う身体機能や判断力の低下などにより運転に不安を感じるようになったら、本人の意思で有効期限の残っている運転免許証を返納することができます。

町では、自ら運転免許証を返納した65歳以上の人を対象に、支援補助事業を行っています。

申請方法

富岡警察署交通課で手続きし、「運転経歴証明書」（有料1,100円）の交付を受けた後、役場総務課で申請してください。



※「運転経歴証明書」は運転免許証と同じ大きさのカードで、公的な身分証明書として使用できます。

支援補助の内容

- ① 「運転経歴証明書」 交付手数料1,100円の補助
- ② デマンドタクシー「愛のりくん」の回数券3,000円を贈呈



問合せ先

返納に関すること↓富岡警察署交通課 ☎(62)01110
補助に関すること↓役場総務課

補助金申請件数

今年4月からの補助金申請状況は次のとおりです。

(7月19日現在)

補助金	件数
先進安全自動車購入費補助金	15件
運転免許証自主返納支援補助金	14件